

## 定期報告(ウルグアイ政務・経済:2022年11月)

### 【ポイント】

#### 内政

- ウルグアイ政府は、2023年の新型コロナウイルス感染症ワクチン新規調達数の調整を開始。
- 18日、ラカジェ・ポウ大統領は、12月1日に CPTPP 加入申請書を提出予定である旨全政党代表者に説明。

#### 外交

- 11日、アルベレチェ経済財務大臣はエジプトで開催された COP27に出席。
- 28日、ブスティージョ外相は、ペニー・ウォン豪州外相との会談を実施。
- 30日、ブスティージョ外相は、ナナイア・マフタ・ニュージーランド外相との外相会談を実施。
- 30日、アルゼンチン、ブラジル及びパラグアイの3か国はウルグアイに対して、ウルグアイの CPTPP 加入申請書提出等に対する共同声明を送付。

#### 経済

- 4日、マツス農牧水産大臣及びブスティージョ外相は、日本へのウルグアイ産牛タン輸出のための二国間衛生条件が整い、日本市場への牛タン輸出が可能になった旨発表。
- 19日、ウルグアイ産牛タンのサンプルが日本に向けて初出荷。
- 22日、カナダの格付会社 DBRS モーニングスター社は、ウルグアイの外貨建てソブリン債格付を「BBB(low)」から「BBB」に格上げ。

### 【本文】

#### 1 内政

##### (1)新型コロナウイルスワクチン新規調達

ウルグアイ政府は、既にブラジルで確認されている感染力の高い変異株が、ウルグアイ国内に流入した場合を想定した、2023年の新型コロナウイルス感染症ワクチン新規調達数の調整を開始した。

##### (2)ラカジェ・ポウ大統領に対する支持率世論調査結果

10日、当国世論調査会社 EQUIPOS 社は、10月21日から11月7日にかけて全国18歳以上の704名を対象に実施したラカジェ・ポウ大統領の支持率に関する世論調査結果を発表。「支持」47%、「不支持」36%、「どちらでもない」17%の結果となった。

##### (3)ラカジェ・ポウ政権評価に関する世論調査結果

16日、当国世論調査会社 OPCION 社は、11月2日から10日にかけて全国18歳以上の801名を対象に実施したラカジェ・ポウ政権評価に関する世論調査結果を発表。「非常に良い」13%、「良い」31%、「どちらでもない」24%、「悪い」16%、「非常に悪い」15%、「分からない・無回答」1%の結果となった。

##### (4)CPTPP 加入申請書提出予定日の国内発表

18日、ラカジェ・ポウ大統領は、ブスティージョ外相とともに全政党代表者を召集し、12月1日に CPTPP 加入申請書を提出予定である旨説明。同集会に出席した与野党代表らからは、CPTPP 加入を支持する声も上がった一方で、今次申請書提出が、同申請を具体化するのに適切な時期であるのかどうかは分析を要するとの声

や、ブラジル政権交代後に申請書を提出するのが好ましいとの意見が上がり、また、ウルグアイが自国産品とインテリジェンスを域外国にもたらしことを達成するためには、メルコスールを強化しなければならないとの指摘も上がった。

## 2 外交

### (1) アルベレチェ経済財務大臣の COP27 出席

11日、アルベレチェ経済財務大臣はエジプトで開催された COP27の気候変動対策のための経済大臣会議に出席。同大臣は、国内環境アジェンダ及び経済政策の中に気候変動政策を組み込むためのロードマップの完成に関する経済省の活動について強調した。

### (2) 米国巡視船の供与

13日、巡視及び国境管理支援等、西海岸における海軍の活動強化を目的に「ROU 14 Rio Arapey」、「ROU 15 de la Plata」及び「ROU 16 Rio Yaguaron」と名付けられた3隻の巡視船が米国から供与された。同巡視船の供与は、米国との協力協定によってコスト無しに実現するもの。

### (3) ブライアン・ニコルズ米務次官補の当地訪問

16日、2022年4月にブスティージョ外相及び布林ケン米務長官との間で合意された米ウルグアイ年次二国間政策対話メカニズムが発足し、第1回会合を開催。ブスティージョ外相及びブライアン・ニコルズ米務次官補(西半球担当)を筆頭にした両国代表団による協議が行われた。本メカニズムの発足は、政治、経済、貿易、投資、テクノロジー、文化、教育、社会問題等の優先事項における包括的かつ全面的な手法での二国間課題への取組を可能とするもの。

### (4) ブスティージョ外相の豪州訪問

28日、ブスティージョ外相は、ペニー・ウォン豪州外相との会談を実施。同会談では、両国が示す多国間主義の重要性及びルールに基づき国際秩序を守ることに焦点を当てたウルグアイとオーストラリアの共働する取組が強調された。また、ブスティージョ外相は、アマンダ・リッシュワース豪州社会サービス大臣、ティム・エアーズ豪州貿易次官及び豪ウルグアイ友好議連との会談も実施した。

### (5) ブスティージョ外相のニュージーランド訪問

30日、ブスティージョ外相は、ナナイア・マフタ・ニュージーランド外相との外相会談を実施。同会談では、価値と利益を共有する様々な国際場裡における戦略的パートナーとしてのウルグアイとニュージーランドの良好な二国間関係について意見交換を行った。

### (6) メルコスール加盟国の共同声明

30日、アルゼンチン、ブラジル及びパラグアイの3か国がウルグアイに対して、ウルグアイの CPTPP 加入申請書提出等に対する共同声明を送付した。同共同声明には、これら3か国が法的及び貿易における利益を守るために必要と判断する措置を執る権利を保持すること及び、メルコスールの規約上いずれの加盟国も一方的な貿易交渉を行うことはできないとの警告について言及されている。

## 3 経済

### (1) 海上プラットフォーム炭化水素探査

当地海上プラットフォームでの炭化水素探査に関心を有する石油会社の第2回事前審査募集が締め切られ、同募集には、①中国の中国海洋石油総公司社(CNOOC)、②米国のオキシデンタル・ペトロリウム社(OXY)、③

カタールのカタール・エナジー社、④アルゼンチンの YPF 社、及び⑤フランスのトタルエナジーズ社の5社が応募した。今回書類を提出した同5社は、11月30日まで入札が可能となり、その後、国営燃料公社(ANGAP)が12月から2月にかけて落札する予定となっている。

#### (2) 日本市場への牛タン輸出に関する共同記者会見

4日、マツス農牧水産大臣及びブスティージョ外相は、オンライン共同記者会見を実施、日本へのウルグアイ産牛タン輸出のための二国間衛生条件が整い、日本市場への牛タン輸出が可能になった旨説明を行った。

#### (3) ウルグアイ産牛タンの日本輸出

19日、ウルグアイ産牛タンのサンプルが日本に向けて初出荷された。マツス農牧水産大臣は、今次輸出により日本市場における新たなビジネスへの扉を開くことができると評価した。

#### (4) 格付会社 DBRS モーニングスター社による格付評価

22日、カナダの格付会社 DBRS モーニングスター社は、ウルグアイの外貨建てソブリン債格付を「BBB(low)」から「BBB」に格上げし、今後の見通しについては「安定」とした。これにより、同社によるウルグアイの投資適格は、最低ランクを一つ上回った。

#### (5) 国家統計院発表経済指標

国家統計院(INE)によると、過去12か月間の累積インフレ率は10月に9.05%となり、9月の9.95%に比べ0.9%減少した。また、同院によると、失業率は7.8%となり、失業者数は、141,200名と推定され、対前月比7,500名減となった。

## 4 要人往来

### (1) 往訪

- ・6日～12日：アルベレチェ経済財務大臣のエジプト訪問(COP27出席)。
- ・15日～19日：パガニーニ工業エネルギー鉱業大臣の米国訪問(ウルグアイ IT 会議所及び貿易投資促進庁主催 ICT セクター企業ミッション)。
- ・25日～12月2日：ブスティージョ外相のオーストラリア、ニュージーランド訪問(二国間会談及び CPTPP 加入申請書提出)。

### (2) 来訪

特記事項無し。